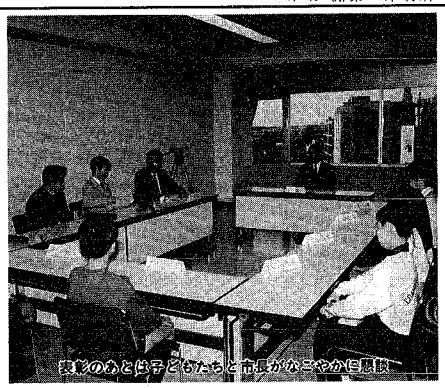
市報
平成4年
11月29日
第1344号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口 〈10月末現在〉
人口 480,424人（+345）
男 233,061人（+222）
女 247,363人（+123）
世帯数 168,292（+251）
住民基本台帳による。（）は前月比

市民提案 私のえがく21世紀のにいがた 入選15作品が決定

市では第四次総合計画に市民の皆さんの意見を反映させようと、市民提案「私のえがく二十一世紀のにいがた」を募集していましたが、このほど結果がまとまり十一月十九日に表彰式と懇談会が行われました。


表彰のあとは子どもたちと市長がなごやかに懇談

入選者は一般の部で五人と一団体、小・中・高校生の部で九人。表彰式では市長が一人ひとりに賞状と記念品を手渡しました＝写真＝。席上、市長は「三百八十五点という大変多くの応募をいただき、その中から厳選させてもらいました。入選作には夢があり、『こんなになったらいい』といったことが審査員の共感を呼びました。皆さんの夢の実現のために頑張りたい」とあいさつ。引き続き行われた懇談会では、入選者とともにまちづくりや将来への夢などを語り合いました。

提案に多数の応募

この総合計画とは、市政のあらゆる分野にわたる施策を推進していくための長期的基本指針。第四次総合計画は、二十一世紀初頭をめどとする新潟のまちづくりの基本となるもので、今回の提案は一般の部六十九点、小・中・高校生の部で三百十六点、合計三百八十五点の応募がありました。また性別では、男性百四十二人、女性二百二十八人からなり、内容としては「水と緑・自然・環境」「都市整備・機能・施設」が全体の六割以上を占めました。なお、入選作は二月発刊予定の「ひろば にいがた冬号」で紹介します。入選者と表題は次のとおりです（敬称略）。

一般の部 大森裕「今は二〇〇二年。新潟は環日本海圏のNO1都市」、上山寛「新潟島を中心とした新しいまちづくり」、後藤誠「県都新潟市に信濃川横断地下街及び地下鉄を建設する」、田沢則夫「水辺劇場都市（水辺と芸術の回廊づくり）」、新潟の明日を考える会「寝たきり老人ゼロの新潟市」、星山伸一「私のえがく二十一世紀のにいがた」

小・中・高校生の部 植木堅介・上所小五年「みんなで楽しめる七つの公園」、大湊綾香・桜が丘小六年「おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ」、大宮愛・五十嵐小六年「三十年後の私の一日」、佳吉雄一・新潟小六年「水と緑と花の都国際交流の都市」、坂内香織・新潟小六年「環境都市NIIGATA！わたしが三十歳になった時」、長谷川悠貴・東山の下小六年「ぼくの町ニ・イ・ガ・タ・シティ」、堀内朋美・小針中三年「新潟の未来に思う」、松浦淑之・関屋中三年「新潟都市化三角構想」、長井理恵・新潟高校三年「最先端技術を駆使した開発による新潟の発展」

文化の振興など 市政功労者を表彰

青少年の健全育成、文化の振興など市政の進展に多大な功績のあった人たちを表彰する、平成四年度の市政功労者は次のとおりです（敬称略）。

表彰が十一月二十一日に行われ、長谷川市長から表彰を受けました＝写真＝。受賞者

再表彰 鹿野重一（市教育委員会委員在職十四年）、皆川善作（市農業委員会委員在職十四年）、渡辺一衛（市農業委員会委員在職十六年）、平松友平（市農業委員会委員在職十四年）、松尾一次（市農業委員会委員在職十四年）

初表彰 高橋智栄（青少年の健全育成）、江川清（文化の振興）、南雄太郎（産業の振興）、山作栄司（産業の振興）、横山宏（産業の振興）、佐藤英子（保健衛生の向上）、滝沢斐佐子（保健衛生の向上）、丹羽昭（体育の向上）、高橋敏雄（地域社会の振興）、岩崎正典（交通安全功労）

(財)新潟市開発公社 マリンピア日本海の職員を募集

試験日 十二月二十日
試験会場 市水族館マリンピア日本海
職種 飼育
採用人数 若干名
業務内容 マリンピア日本海の魚類・海獣類などの飼育
受験資格 昭和四十六年四月二日以降に生まれ、飼育業務に必要な水産学・生物学などに関する専門課程を卒業、または来年三月三十一日までに卒業見込みの人
試験内容 （一次）能力試験、適性検査
試験案内・申込用紙 新潟市開発公社（学校町通一、市役所第二分館二階）で差し上げます。郵送を希望する人は返信用封筒（六十二円切手を張る）を同封し、請求する封筒に「案内請求」と明記してください。
申込期間 十二月五日までの午前八時半から午後五時まで（土曜日は正午まで、日曜日は休み）。郵送による申し込みは十二月五日の消印有効
問い合わせ 新潟市開発公社（☎223－2612）へ

12月3日に 両川地区 市政懇談会

地域の課題を市長と話し合う市政懇談会を両川地区で開催します。多数の皆さんの参加をお待ちしています。
日時 十二月三日午後一時半～
会場 酒屋町民の家
対象 両川地区在住の人
市側出席者 市長、局・部長、ほか
問い合わせ 市民相談室（☎内線2062番）へ

未納市税は 年内完納を

市では、十二月を“納税強調月間”として市税未納者に対する納税指導を行っていますので、お気軽にご相談ください。来庁できない人は、電話による相談をご利用ください。納め忘れの市税は年内に完納されるようお願いします。事情があって年内に完納がむずかしい人には、計画的な納税方法などの相談を行っています。

日曜納税相談
日時 十二月六日午前十時～午後三時
会場 納税課二十七番窓口（本館二階）
問い合わせ 納税課（☎内線2357～2365番）へ

なお、平日（第二・第四土曜日を除く）のほか日曜日の相談も行います。

第24回 市美術展市長賞④ 彫刻の部「なみ」

山本泰宣さん（五十嵐2）

〈審査員講評〉
山本さんの作品はテラコッタ（素焼）の素材で、粘土の持つ素朴な色合いと柔らかさは独特な味わいである。女性の顔面から受ける表情は静かな中に力強さが伺える。今後斬新な表現の中に素材を生かせたら魅力も増すのではなかろうか。

年賀状あて名書きの利用を

単価 ペン書き…12円～24円、毛筆書き…36～70円
申し込み 市身体障害者福祉協会運合会（☎246－1333）、市シルバー人材センター（☎241－3536）へ

鳥屋野交通公園 ゴーカートを休止

鳥屋野交通公園のゴーカートの利用を、冬季に入る12月1日から来年2月28日まで休止します。
問い合わせ 公園緑地課（☎内線2833番）へ

企業ガイドブック 掲載事業所募集

市雇用促進協議会では、平成6年3月に新卒採用者を予定している企業を紹介する「企業ガイドブック」の掲載事業所を募集します。
掲載料 47,000円
申し込み 12月14日までに勤労福祉課（☎内線2534番）へ

市役所・市教育委員会 ☎228-1000（代表）

電話案内
体育施設管理センター…266－8111
園芸センター…286－1034
東保健所…243－5311
石山地区保健センター…286－4450
鳥屋野地区保健センター…285－2373
北地区保健センター…259－7332
西保健所…266－5171
西地区保健センター…262－3405
坂井輪地区保健センター…260－3255
休日診療（市医師会・県歯科医師会）
休日急患診療センター…228－2822
休日歯科診療センター…283－3030